

解答プリント「中学2年理科・第1分野」

■確認プリント

12 物質の成り立ち①

【評価の観点】㊦：思考・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>1 ㊧ (1) 試験管の中の空気が出てくるから</p> <p>㊨ (2) 二酸化炭素</p> <p>㊨ (3) 赤色（桃色，うすい赤色）に変化する</p> <p>㊨ (4) ガラス管を水槽の水から取り出す</p> <p>㊨ (5)① 炭酸ナトリウム</p> <p>㊨ ② 炭酸ナトリウム</p>	<p>1 (1) 炭酸水素ナトリウムを入れた試験管やゴム管，ガラス管内は空気がたまっているのので，この空気がまず出てくる。これは炭酸水素ナトリウムの加熱によって生じた気体ではないので，最初に出てくる気体は使用しない。</p> <p>(2) 石灰水を入れてふる実験を行うと，白くにごることから，二酸化炭素が発生したことがわかる。</p> <p>(3) 塩化コバルト紙が青色から赤色（桃色，うすい赤色）に変化することから，水であることがわかる。</p> <p>(4) 水の逆流を防ぐために，ガスバーナーの火を消す前にガラス管を水から出す。</p> <p>(5) 炭酸水素ナトリウムと炭酸ナトリウムの比較</p> <p>①水へのとけ方 炭酸水素ナトリウムは水に少しとける。 炭酸ナトリウムは炭酸水素ナトリウムに比べてよくとける。</p> <p>②フェノールフタレイン溶液を加えたときのようす 炭酸水素ナトリウムの水溶液…うすい赤色になる。 炭酸ナトリウムの水溶液…濃い赤色になる。 炭酸ナトリウムの方が強いアルカリ性である。</p> <p>炭酸水素ナトリウムを加熱したときの化学変化 炭酸水素ナトリウム→炭酸ナトリウム+二酸化炭素+水</p>
<p>2 ㊨ (1) 激しく燃える</p> <p>㊨ (2) かたいものでこすり光沢を調べる</p> <p>㊨ (3)① Ag_2O ② O_2</p>	<p>2 (1) 酸化銀を加熱すると， 酸化銀→銀+酸素 という反応が起こる。酸素は，火のついた線香を近づけると激しく燃やすはたらきがある。</p> <p>(2) 金属の性質 みがくと特有の光沢がでる たたいて広げたり引きのばしたりすることができる，電流や熱をよく通す，などがある。</p> <p>(3) 酸化銀の化学式は Ag_2O，酸素の化学式は O_2 である。</p>